

令和 2 年度
包括外部監査結果報告書
【概要版】

補助金に関する事務の執行について

令和 3 年 2 月
八戸市包括外部監査人
公認会計士 荒谷 祐介

目 次

I	監査の概要	1
1.	選定した特定の事件（監査テーマ）	1
2.	特定の事件（監査テーマ）として選定した理由	1
3.	監査の対象期間	1
4.	監査の実施期間	1
5.	監査従事者の資格及び氏名	1
6.	監査の基本的な方針	2
II	外部監査の結果及び意見	3
1.	監査の結果及び意見の総括	3
2.	監査の結果及び意見の概要	4
(1)	補助目的の公益性、補助金交付の公平性について	4
(2)	事務処理の交付要領等合規性について	5
(3)	補助対象経費、補助率、補助単価について	6
(4)	補助事業の効果測定、補助先への指導について	8
(5)	消費税に関する事項について	10
(6)	交付要領等の見直しについて	11
(7)	その他の監査の結果及び意見	13

《凡例》

本文中で使用する法令等の略語は次のとおりである。

地方自治法	⇒	自治法
地方自治法施行令	⇒	自治令
八戸市財務規則	⇒	財務規則
八戸市補助金等の交付に関する規則	⇒	交付規則

I 監査の概要

1. 選定した特定の事件（監査テーマ）

補助金に関する事務の執行について

2. 特定の事件（監査テーマ）として選定した理由

八戸市は現在進行中である「第6次八戸市総合計画」において、様々な施策に基づき事業を実施しており、その事業を進めるにあたり補助金の交付も行われている。補助金は政策目的達成の手段として重要な機能を有していると考え、社会情勢や経済環境は常に変化しており、事業開始当初は公益性があったものの、時の経過と共にその公益性が低下する場合もある。また、他の地方公共団体の包括外部監査でも指摘されているように、補助金は一度交付が始まると、毎年度継続的に支出され続ける傾向にあり、見直しを怠ると、固定化、既得権益化しかねないというリスクもはらんでいる。市の予算が限られている中で、補助金の公益性、補助金の申請から交付決定に至るまでの合规性、補助金の経済性、効率性、有効性等について検証を行うことは、市の財政的な観点からも意義があると思われる。以上のことから、補助金に関する事務の執行について監査する意義があると判断し、特定の事件（テーマ）として選定した。

3. 監査の対象期間

原則として令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）。ただし、必要に応じて平成30年度以前及び令和2年度の執行分を含む。

4. 監査の実施期間

令和2年7月6日から令和3年2月18日まで

5. 監査従事者の資格及び氏名

包括外部監査人	公認会計士	荒谷 祐介
監査補助者	公認会計士	渡邊 雅章
	公認会計士	山崎 愛子
	公認会計士	鳩 健二
	公認会計士	森田 清人
	公認会計士	長谷川 哲央
	公認会計士	鈴木 崇大

6. 監査の基本的な方針

今般の監査においては法令その他規則への合規性監査に重点を置くが、コストを抑えつつより大きな効果をあげるよう努めているか、より効率的な方法が取られているか、といった視点も重要事項ととらえ、監査を実施した。主要な監査要点は以下のとおりである。

- ① 補助事業の公益上の必要性はあるか
- ② 補助金の交付に公平性があるか
- ③ 補助金の交付事務手続は定められた手順によっているか
- ④ 補助金額の算定及び交付時期は適切か
- ⑤ 補助事業の効果測定及びそのフィードバックは適切か

Ⅱ 外部監査の結果及び意見

1. 監査の結果及び意見の総括

包括外部監査人は、監査の基本的な方針を定め、それに基づいて監査要点を抽出し、各監査要点について監査手続を実施した。その結果及び意見の総括は、次に示すとおりである。

【図表 監査の結果及び意見の総括】

項目	監査の結果	意見
(1) 補助目的の公益性、補助金交付の公平性について	6	3
(2) 事務処理の交付要領等合规性について	9	2
(3) 補助対象経費、補助率、補助単価について	8	10
(4) 補助事業の効果測定、補助先への指導について	5	6
(5) 消費税に関する事項について	3	3
(6) 交付要領等の見直しについて	5	15
(7) その他の監査の結果及び意見	3	19
合計	39	58

※【監査の結果】

【監査の結果】は、今後、市において措置することが必要であると判断した事項である。主に合规性に関すること(法令、条例、規則、規程、要綱等に抵触する事項)となるが、一部、社会通念上著しく適正性を欠いていると判断される場合についても同様に、【監査の結果】として記載している。

※【意見】

【意見】は【監査の結果】には該当しないが、経済性・効率性・有効性の視点から、施策や事業の運営合理化のために、包括外部監査人として改善を要望するものであり、市がこの意見を受けて、然るべき対応を行うことを期待するものである。

『2. 監査の結果及び意見の概要』にて、上記項目ごとの監査の結果及び意見について一覧形式でまとめ、代表的な監査の結果及び意見について概要を述べる。

2. 監査の結果及び意見の概要

(1) 補助目的の公益性、補助金交付の公平性について

補助目的の公益性について、自治法第 232 条の 2 において、「普通地方公共団体は、その公益上必要がある場合においては、寄附又は補助をすることができる。」と定められており、公益上必要である場合に補助金の交付ができる。公益上の必要性の判断にあたっては、交付の目的が明確化されていることが前提となる。今般の監査において、補助金の交付要領等において補助の目的が明文化されていないものが散見された。例えば、『**社会福祉協議会事業補助金**』では、補助金の交付要領においては、趣旨は定められているものの、補助の目的が明文化されていなかった。補助の目的は交付要領に記載するまでもなく所管課の職員間で共有されているかもしれないが、第三者から見ても補助目的の公益性が明確になるよう、交付要領に明記すべきである【結果 14】。

補助金交付の公平性については、検討を要すると思われる事例が見受けられた。例えば、『**マル経融資利子補給事業補助金**』では、この制度の利用者が利子補給期間内に期限前返済を行い、再度借入(実質的な借換え)を行うことで、利子補給期間が実質的に延長されることになり、当初借入を約定通りに返済し必要な資金のみを追加で借り入れた者との間で公平性が失われることになる。期限前借換え自体は違法ではないものの、公平性が損なわれる場合の対応について検討が必要であろう【意見 17】。

『**中心商店街空き店舗・空き床解消事業補助金**』では、補助金交付申請書の提出期限を年内の最終開所日と定めているため、1 月～3 月に新規出店を検討し、本補助金の交付申請を希望する者や年度をまたぐ改装工事を行う新規出店者については、交付申請を翌年度まで待たなければならない。本補助金の公平性確保の観点から、1 月～3 月に新規出店を検討し、本補助金の交付申請を希望する者や年度をまたぐ改装工事を行う新規出店者に対しても申請可能とする仕組みづくりを検討することが望まれる【意見 13】。

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
中心商店街空き店舗・空き床解消事業補助金	意見 13	1 月から 3 月に新規出店を検討する者に対する対応について
マル経融資利子補給事業補助金	意見 17	実質的に借換えを行った場合の対応について
社会福祉協議会事業補助金	結果 14	交付目的の明文化について
地域集会所整備費補助金	結果 16	交付目的の明文化について
八戸市民生委員児童委員協議会補助金	結果 17	交付目的の明文化について

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
八戸市民生委員児童委員協議会運営費補助金	結果 19	交付目的の明文化について
地区社会福祉協議会活動事業補助金	意見 40	地区社協の繰越金について
八戸市防犯灯設置等事業補助金	結果 38	交付目的の明文化について
中学校体育大会選手派遣事業費補助金	結果 39	交付目的の明文化について

(2) 事務処理の交付要領等合規性について

今般の監査において、交付要領等に反した補助金の交付、事務処理の事例が認められた。『**南郷ジャズフェスティバル実行委員会補助金**』では、交付要領に反する補助金交付が行われていた。過去5年間で補助限度額を超過した補助金交付が2回行われており、その超過額はいずれも過年度に生じた実行委員会の収支差額(損失)累計であり、過年度の損失補填のための借入金の返済原資となるものであった。交付要領の補助対象経費には『過年度の損失補填のための借入金に係る返済支出』は含まれておらず、交付要領に反する補助金交付であると言わざるを得ない。市は損失補填の可否やその方法について早急に整理する必要がある【結果1】。

『**保育環境改善等事業補助金**』では、交付要綱において、領収証や支払いを証明できるもので、物品等の名称が明記されたものを実績報告書の添付書類として定めているが、支払を証明するものとして振込受付書が提出されているものの購入物品の名称が明記されていない事例や、納品書は提出されているものの領収証は提出されていない事例が認められた。補助対象経費であることを確認するために留意すべきポイントに注意を払い、実績報告時の提出資料に不備がないように努められたい【結果20】。

『**軽費老人ホーム事務費補助金**』では、交付要綱において、実績報告時に補助先より「地域貢献に関する報告書」の提出を受ける旨が定められているものの、この報告書の提出がない法人が3先あった。地域貢献報告の提出を求める趣旨は、補助先が社会福祉法にて責務化されている「地域における公益的な取組」を行っているか否かを市として毎年度確認することによって、補助金確定の参考資料とすることや、次年度の補助金交付の際の参考とするものである。市は、交付要綱に基づき、全ての補助先から報告書を適切に徴取する必要がある【結果22】。

『**老人クラブ補助金**』では、市が補助先に送付している収支決算書記載例が適切ではなかった。本補助金の流れとして、5月中に申請を受け、7月前後に補助金を概算交付し、年度末に収支決算書を受領、確認の上、概算交付額と対象経費実支出額のいずれか低い金額で補

助金が確定する。ここで年度末に補助先より提出される収支決算書の「支出済額」欄には実支出額が記載されて然るべきであり、市としても補助先にそのことを徹底させる必要があるが、市が作成し補助先に送付している収支決算書記載例では「支出済額」欄に『補助金額以上の額』と記載されており、誤った指示・強調事項が付されている。収支決算書を作成する補助者によっては、実支出額が概算交付額よりも少ない場合において、記載例の指示とおりに『補助金以上(監査人注:概算交付額以上)の額』を記載してしまう可能性が認められ、そのことは、架空経費支出による補助金の不正搾取のリスクを高めているといえる。今後、このような記載例は即刻中止し、『実支出額』を記載するよう指導、周知徹底する必要がある【結果 24】。

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
南郷ジャズフェスティバル実行委員会 補助金	結果 1	交付要領に反した補助金交付について
中心商店街空き店舗・空き床解消事業 補助金	結果 3	現況届の提出期限の遵守について
中心商店街空き店舗・空き床解消事業 補助金	意見 11	現況届に関する添付書類漏れについて
中小企業振興補助金	結果 6	書類の徴求漏れについて
成長産業立地等支援事業補助金	意見 27	事業完了日の定義明確化と実績報告書提出期限の定め について
保育環境改善等事業補助金	結果 20	実績報告書に添付される書類の深度ある検証について
軽費老人ホーム事務費補助金	結果 22	実績報告時の地域貢献報告の網羅的な入手について
老人クラブ補助金	結果 24	収支決算書の記載例について
八戸市地域活動支援センター事業補 助金	結果 28	職員の変更に関する報告の徹底について
病院群輪番制運営費補助金	結果 30	実績報告書に係る提出書類の添付漏れ及び記載誤りに ついて
八戸市資源集団回収事業補助金	結果 34	実績報告書の提出について

(3) 補助対象経費、補助率、補助単価について

補助対象経費、補助率、補助単価は補助金の額を構成する重要な要素であるが、これらに

ついても、多数の結果及び意見が見られた。例えば、『**老人クラブ補助金**』では、補助金確定に際し、市が実施する収支決算書の事後確認の手続は、提出された収支決算書を閲覧・検証し、誤りや疑問点がある場合には補助対象者へのヒアリングの実施にとどまっており、特に根拠証憑の確認による金額・補助対象経費該当性の確認や収支明細の確認等の深度ある手続までは実施していなかった。老人クラブ数は 152 と多く存在し、全ての補助対象者に対して詳細な収支報告書の確認を行うことは現実的ではないとも考えられるが、今後は毎年数件をサンプルとして収支明細を求めることや、実際に証憑突合を実施するといった市の姿勢を見せることも必要ではないだろうか【**意見 45**】。また、『**地方路線バス維持費補助金**』では、補助金の額の構成要素である補助先が提示する「路線別経常収益」のうちの「運送収益」について、最終的な算定結果のみが市に提示されているに留まり、算定された値の算出過程や真正性・妥当性に係る検証を市は行っておらず、先方が提出した「路線別経常収益」を市は鵜呑みにしている状況であった。運送収益の多寡は、補助金の額に直接影響を与えるため、その算定過程及び結果に恣意性がないか、客観的であるかという観点から深度ある検証を行う必要がある。【**意見 54**】。一般論として、補助先に補助金をできるだけ多く貰いたいという健全な懐疑心に基づく「動機」があることを前提にした場合、市としては補助対象経費等について深度ある検証を実施することにより、不正を行う「機会」を限りなく低減するよう努めるべきである。

『**八戸市資源集団回収事業補助金**』では、交付要領において、資源物回収事業者が行う資源物集団回収事業に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する旨を定めているが、補助対象経費の詳細については何ら定められていない。そもそも補助対象経費が定められていないと、実績報告書の審査時に、補助金交付先の補助事業における支出内容が補助対象経費に該当するか否かのチェックができず、補助事業以外の経費に対して補助金を交付するリスクが残る。このようなリスクを未然に防ぐためにも、交付要領において補助対象経費の詳細を定めることが必要である【**結果 35**】。

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
八戸市納税貯蓄組合事務費補助金	結果 4	補助対象外経費の取り扱いについて
青森県中小企業団体中央会事業補助金	結果 9	複数の自治体からの補助金の把握について
青森県中小企業団体中央会事業補助金	結果 10	申請時における補助対象事業の明確化について
DMO推進補助金	意見 36	今後の補助率見直しの検討について
漁業用海岸局事業補助金	結果 13	補助金額の算定について

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
社会福祉協議会事業補助金	結果 15	補助対象経費について
老人クラブ補助金	意見 43	補助対象外経費の可能性のある飲食費の支出について
老人クラブ補助金	意見 45	市の事後確認の強化について
八戸地区連合防犯協会補助金	結果 32	食糧費について
八戸地区連合防犯協会補助金	意見 50	補助対象経費と交際費について
八戸市資源集団回収事業補助金	結果 35	補助対象経費の明確化について
八戸市資源集団回収事業補助金	結果 36	補助単価の積算について
カラス被害対策事業ごみ箱設置補助金	意見 53	補助率等の見直しについて
地方路線バス維持費補助金	意見 54	補助金の額の深度ある検証について
八戸市児童生徒文化活動促進費補助金	意見 55	補助対象経費に係る証憑について(運営費補助金)
八戸市児童生徒文化活動促進費補助金	意見 56	補助対象経費について(運営費補助金)
八戸市児童生徒文化活動促進費補助金	意見 57	補助対象者数について(大会派遣費補助金)
八戸市児童生徒文化活動促進費補助金	意見 58	交通費について(大会派遣費補助金)

(4) 補助事業の効果測定、補助先への指導について

今般の監査において、補助事業の効果測定、指標の設定、補助先への指導に関する事項についても結果及び意見が見られた。『南郷ジャズフェスティバル実行委員会補助金』の補助対象となっている南郷ジャズフェスティバルは、毎年 10 百万円～12 百万円の補助金が投入されている。事業効果の測定という観点からは、現状、南郷ジャズフェスティバルによる効果の分析は定性的側面に重きが置かれ、定量的な側面からの分析、コストに対する経済効果の測定を行うには至っていない。継続的な南郷ジャズフェスティバルの実施のためにも、補助

金に頼らない事業運営を目指す必要があり、市は、定量的な側面からの南郷ジャズフェスティバルの精緻な効果測定を行い、事業効果の精緻な検証を行うべきである【意見 2】。

『立地奨励金補助金』では、補助金の効果測定指標として、他事業・施策と共通する指標や、事業の一部のみを対象とした指標が設定されているものの、この補助金単独の指標は特に設定されていない。事業の性質上補助金額は多額であり、事業内容等の要件は限定されているため、公平性に関する議論が生じやすい側面もある。この補助金が産業の振興及び雇用の拡大という目的に合致している根拠となる補助金固有の指標を設定することは、補助金の有効性についてより説得力を高めることを可能にするといえ、補助金単独での効果測定を目的とした効果測定指標の追加を検討することが望ましいであろう【意見 20】。

『DMO推進補助金』では、補助先が実績報告の添付書類として補助金事業経費内訳書を提出しているが、その支出科目で交際費の科目を使用しているものが散見され、交際費の内容を確認したところ、実際には取材対応費や消耗品費、広告宣伝費、協賛金等であった。「八戸市補助金の交付及び見直しに関する基準」では、公益事業との関連性が一般的に明確化しにくい経費である交際費は、原則として補助対象経費としないこととしている。そのため、本補助金においても公益事業との関連性が一般的に明確化しにくい経費は補助対象経費としないことを明確にし、実績報告の書類としての内訳書においても、「交際費」の科目を使用せず、実際の内容に沿った支出科目で報告をさせるように指導すべきである【意見 31】。また、内訳書の支出科目について、証憑書類として領収書等の写しが複数添付されているのみであり、支出科目の明細はなかった。添付されている複数の領収書等を全て足し合わさなければ、内訳書の金額を確認することができず、内訳書の支出額が誤っているものについては補助先に修正依頼が行われており、市担当者が実績報告を確認するための作業時間も多く費やされている。この対応として、補助先でも報告誤りをなくし、市担当者の確認も容易となるよう、各科目の明細を作成するように指導すべきである。各科目明細の作成により、補助先でも支出金額の誤りを削減することができ、市担当者の実績報告確認においても負担が軽減し、効率的に行うことができると考える【意見 32】。

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
南郷ジャズフェスティバル実行委員会補助金	意見 2	継続的な南郷ジャズ実施のために①(経済効果の分析について)
南郷産業文化まつり事業補助金	意見 7	請求書の名義について
中小企業振興補助金	結果 7	事業計画書の正確な記載について
中小企業振興補助金	結果 8	助成事業認定申請書の正確な記載について

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
中小企業振興補助金	意見 15	助成事業により取得した財産の処分の制限について
立地奨励金補助金	意見 20	補助金の効果測定指標の追加について
DMO推進補助金	意見 31	VISIT はちのへの勘定科目の適切な使用について
DMO推進補助金	意見 32	補助金事業経費内訳書に関する科目明細作成依頼について
八戸市地域活動支援センター事業補助金	結果 26	1日あたりの実利用人数に関する事業計画書について
八戸市地域活動支援センター事業補助金	結果 29	適切な利用申請の徹底について
八戸地区連合防犯協会補助金	結果 33	領収書の取扱いについて

(5) 消費税に関する事項について

消費税の補助金における取り扱いについて、本来、費用として負担する消費税は補助対象となるものであるが、補助対象事業における消費税相当額が仕入税額控除の対象となる場合には、施行者は実質的に消費税相当額を負担しないこととなるため、結果として当該仕入控除税額を補助対象として交付された補助金が消費税として使われずに施行者に滞留することとなる。補助金とは、あくまで費用として負担するものに対して補助するものであるという補助金本来の趣旨に鑑み、実質的に負担しないものについては補助対象となり得ず、交付決定等の取り扱いについては留意する必要がある。このような取り扱いの対象となるのは、民間事業者などの消費税法の定める課税事業者が補助対象事業を実施する場合である。『**優良建築物等整備事業補助金**』では、「補助金の交付決定前の段階で当該補助金に係る消費税仕入控除税額が明らかになる場合」であったにも関わらず、交付決定が消費税仕入控除税額を除いた額で行われていなかったものがあつた。令和2年度には整備が完了したため、通知のとおり、消費税仕入控除税額が確定した段階でその額を返還するための手続を実施すべきである。今回このような事象が発生したのは、補助金交付先が消費税法の定める課税事業者であるにもかかわらず、課税事業者に該当しないと判断したためであるが、特に今回のような施設整備事業の場合は、事業総額が多額にのぼり、補助金の過大交付となった場合、補助金の返還額も多額となり、補助金交付先への影響も大きい。今後、同様の事業が実施される場合には、消費税法の定める課税事業者に該当するか、否かの判断は慎重に行うべきである【結果2】。

『**地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金**』では、消費税及び地方消費税に係る仕入

控除税額報告書の提出が行われていたが、この報告書に関する添付書類の提出が行われていなかった。添付書類の提出は、報告書の様式に定められており、報告書の内容を確認するうえでも必要であるため、添付書類の提出を求めるべきである【結果 31】。

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
優良建築物等整備事業補助金	結果 2	補助事業における消費税相当額の取扱について
八戸市八戸港コンテナ貨物利用促進事業費補助金	意見 18	消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額について
シルバー人材センター補助金	意見 25	交付要領における消費税等の定めについて
成長産業立地等支援事業補助金	意見 29	交付要領における消費税等の定めについて
保育所等業務効率化推進事業補助金	結果 21	消費税及び地方消費税に係る仕入控除額の報告について
地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金	結果 31	消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額報告書について

(6) 交付要領等の見直しについて

今般の監査において、交付要領等の見直しが必要な事項についても多数の結果及び意見が見られた。『老人クラブ補助金』では、交付要領では補助金の額を、一定額に活動月数を乗じた額(以下「基準額」という。)と定めており、対象経費の実支出額が基準額を下回る場合の補助金の額の定めがない。対象経費の実支出額が基準額を下回る場合、現在の交付要領の定めにおいては、実支出額ではなく、基準額が補助金の額になると読み取れる。市の実際の運用をヒアリングしたところ、令和元年度において対象経費の実支出額が基準額を下回ったケースはないものの、発生した場合には、実支出額を補助金の額とする運用を行っているとの事であった。今後、市は交付要領における補助金の額について、「一定額に活動月数を乗じた額を基準額とし、基準額と対象経費の実支出額とを比較して、いずれか少ない方の額」等のように、実際の運用を交付要領で明確に定める必要があるだろう【結果 23】。

『八戸市地域活動支援センター事業補助金』では、地域活動支援センター I 型において、交付要領第 2 では「地域活動支援センター基礎的事業及び地域活動支援センター機能強化事業 (I 型) の事業の実施に当たり、2019 年 4 月 1 日現在で、3 名以上の職員(うち常勤職員 2 名以上)が配置されていること。」と定めている。しかし、1 つの地域活動支援センター施設で常勤職員を 1 名しか配置できておらず、当施設には常勤職員 1 名以外に非常勤職員が 3 名配置されており、複数人の非常勤職員の勤務時間を全て足し、常勤職員が勤務したとして何

人になるかを計算する常勤換算をすると要件を満たすものとしたとのことであった。常勤職員 2 名を確保することが困難な場合も存在しており、現状の実施要領及び交付要領では、複数人の非常勤職員の勤務時間を全て足し、常勤職員が勤務したとして何人になるかを計算する常勤換算することができる旨の規定がないため、実施要領及び交付要領を改正することを検討すべきである【結果 27】。

『地区敬老会補助金』では、八戸市では 75 歳以上の高齢者人数に応じて補助金交付を行っているが、他市事例を見る限り、77 歳以上や 80 歳以上の高齢者人数を交付対象とする自治体が複数見られる。また、近年において 80 歳以上を交付対象とするよう対象年齢を引き上げている自治体も複数見られる。青森県の平均寿命も延伸しており、高齢であっても仕事・趣味等に意欲的なアクティブシニアは増加していることが思料される。八戸市では、平成 8 年度より対象年齢を 75 歳以上と設定しているが、こうした時代の変遷を鑑みた場合に、敬老会補助金の対象年齢を引き上げることが必要であろう。【意見 41】。

補助金を交付する環境も常に変化しており、また、長期間にわたり制度を運用している間に、交付要領の定めと制度の実際の運用との間に乖離が生じている場合もあることから、一度定めた交付要領等について、定期的に見直しが必要か検討する必要があるだろう。

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
優良建築物等整備事業補助金	意見 8	事業遂行状況報告書の提出要件について
優良建築物等整備事業補助金	意見 9	補助金精算調書の記載内容説明について
優良建築物等整備事業補助金	意見 10	優良建築物等整備事業補助金概算払申請書兼請求書の記載内容説明について
八戸市納税貯蓄組合事務費補助金	意見 14	納税貯蓄組合事務費補助金の今後のあり方について
操業奨励金補助金	意見 21	申請書添付資料(固定資産税の納税証明書)の規定について
シルバー人材センター補助金	意見 23	実績報告書添付資料の明確化について
シルバー人材センター補助金	意見 24	実績報告の期限について
成長産業立地等支援事業補助金	結果 12	補助金交付要領の文言誤りについて
成長産業立地等支援事業補助金	意見 28	事業着手(完了)届の提出について

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
地域集会所整備費補助金	意見 39	設計図書の徴取について
八戸市民生委員児童委員協議会補助金	結果 18	補助金額の算定の基準日について
地区敬老会補助金	意見 41	補助対象年齢の引き上げの検討について
地区敬老会補助金	意見 42	記念品支出の削減検討について
老人クラブ補助金	結果 23	交付要領の「補助金の額」の定めについて
老人クラブ補助金	意見 44	補助対象経費の具体的判断基準の策定について
老人クラブ連合会補助金	結果 25	交付要領の「補助金の額」の定めについて
八戸市地域活動支援センター事業補助金	結果 27	職員配置基準に関する実施要領、交付要領改正について
八戸市地域活動支援センター事業補助金	意見 47	精神保健福祉士等の定義について
八戸市地域活動支援センター事業補助金	意見 48	利用者の変更があった場合の報告に関する交付要領改正について
カラス被害対策事業ごみ箱設置補助金	意見 52	領収書の写しを提出できない場合の取扱いについて

(7) その他の監査の結果及び意見

前述した(1)～(6)に分類されなかった結果及び意見を(7)に分類している。『**南郷ジャズフェスティバル実行委員会補助金**』については、税収入の減少、社会保障関連経費の増加等により地方財政が大変厳しいなか、今後も継続的なフェスティバルの実施に向けて、市および実行委員会として補助金に頼らない事業運営を目指すための意見を記載した【意見 3～6】。

また、例外的な取り扱いをする場合に、その理由に関する文書化が不足している事例にも触れている。『**シルバー人材センター補助金**』において、交付要領の規定によれば、実績報告書の審査を経て確定した後、補助事業者からの請求に基づき一括交付することが原則とされており、概算払いは例外であると解釈すべきであろう。しかし、概算払いを決裁している決裁書には、概算払いとす理由の明示の記載はなく、また、そもそも決裁の前に補助事業者から概算払いに関する請求・依頼等があった事実も確認できなかった。補助金交付事務の公正さ

を確保する観点から、概算払いをする理由を決裁書において明示すべきであろう【意見 22】。

補助金の仕組みとして登録制度を設けているものの、その登録制度がうまく機能していない事例も見られた。『リサイクルパートナー補助金』では、補助金の交付を受けるにあたって事前にリサイクルパートナーとして市に登録される必要があるが、令和元年度のリサイクルパートナーの登録数は 391 であるのに対して、同年度の実際に回収活動を行なっている団体数は 78 であり、実際に回収活動を行っている団体以外の団体についてはその多くが実質的に活動を休止している状況であった。このようなケースの場合、もはやリサイクルパートナーの登録数はリサイクルパートナーの団体数の実態を適切に反映してないものといえ、リサイクルパートナーの適切な管理の側面からも、実質的に活動を休止しており今後も活動の見込みがない団体については、登録廃止届出書を提出するように促すべきであろう【意見 51】。

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
南郷ジャズフェスティバル実行委員会補助金	意見 1	実行委員会の申告義務について
南郷ジャズフェスティバル実行委員会補助金	意見 3	継続的な南郷ジャズ実施のために②(入場料の設定について)
南郷ジャズフェスティバル実行委員会補助金	意見 4	継続的な南郷ジャズ実施のために③(寄付募集について)
南郷ジャズフェスティバル実行委員会補助金	意見 5	継続的な南郷ジャズ実施のために④(若年層の取り込みについて)
南郷ジャズフェスティバル実行委員会補助金	意見 6	継続的な南郷ジャズ実施のために⑤(出演料の削減)
中心商店街空き店舗・空き床解消事業補助金	意見 12	八戸市中心商店街空き店舗・空き床解消事業補助金審査委員会欠席委員の対応について
中小企業振興補助金	結果 5	交付条件確認資料の入手について
中小企業振興補助金	意見 16	助成事業者から徴求する書類について
青森県中小企業団体中央会事業補助金	意見 19	補助金関係書類の記載内容について
シルバー人材センター補助金	結果 11	実績報告書に収受印がないことについて
シルバー人材センター補助金	意見 22	概算払いの理由明確化について

補助金名	結果 意見	監査の結果または意見
八戸市テレマーケティング等関連産業立地促進費補助金	意見 26	交付申請書及び実績報告書の添付書類について
DMO推進補助金	意見 30	当初予算内での事業変更時の観光課との議事要旨等の作成について
DMO推進補助金	意見 33	年中業催事支援関連事業の補助金額について
DMO推進補助金	意見 34	広域観光推進負担金(旧広域観光推進協議会負担分)の補助金額について
DMO推進補助金	意見 35	南郷物産協会、南郷観光協会、鮫観光協会、種差観光協会との将来の在り方検討について
八戸市除間伐等実施事業補助金	意見 37	事業実績書と事業内訳書の表記について
八戸市除間伐等実施事業補助金	意見 38	実績報告書の添付書類について
八戸市地域活動支援センター事業補助金	意見 46	職員の専任・兼任の報告について
八戸市地域活動支援センター事業補助金	意見 49	交付申請時の事業計画書と利用者名簿、実績報告時の実績報告書と利用者名簿の整合性について
リサイクルパートナー補助金	意見 51	リサイクルパートナーの登録について
カラス被害対策事業ごみ箱設置補助金	結果 37	申請書及び実績報告書に収受印がないことについて